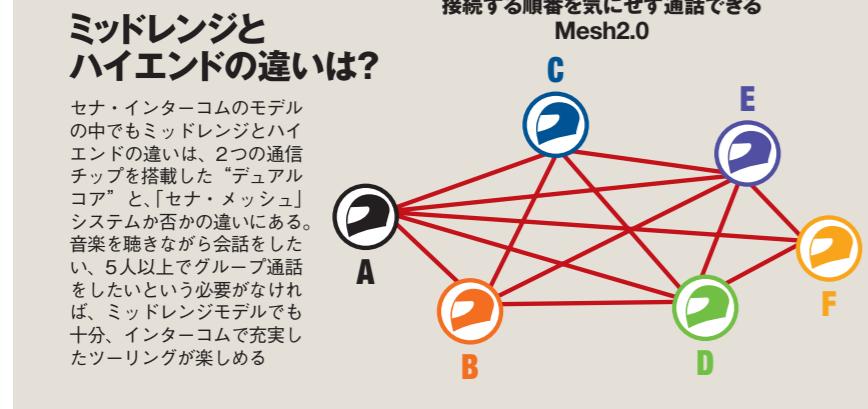


いつも3、4人のグループで走っている

[ミッドレンジの特徴は？]

- 3、4人のグループでのインカム通話がメイン
- 音楽、FMラジオを聴きながら走る
- 通話可能時間は12~13時間とたっぷり
- 通信距離は1100m~1600mと十分

Knowledge



10C PRO

10Sの機能そのままに最大3.7メガピクセルの動画が撮影できるカメラ一体型インターモン。映像には仲間とのインターモン通話や、自分が聴いている音楽、FMラジオなどの音声を同時に録画できる。モトブログの撮影に最適なモデルだ

価格：4万9280円
通話可能時間：
通信距離：最長1600m

ことはできない。しかし、仲間で

ワイワイ話すことが主であれば、

通話しながら音楽を聴く必要性は

そんなに高くないのでは？

インターモンは今や、バイクに乗るときのオーディオシステムともいえるが、基本はやっぱり仲間と一緒に仲間とのグループツーリングがメイン」という重視ニーズに走りながら話すための道具。ミッドレンジのモデルは、しっかりと仲間とのグループツーリングが楽しめる音楽やナビ音声、FMラジオといったオーディオソースを楽しむことだってできる。

また、ハイエンドモデルは「セナ・メッシュ」システムを採用しており、ペアリングや再接続がスマートなのがメリットのひとつ。しかし、ブルートゥースを用いるミッドレンジモデルも、専用のスマートフォンアプリを使うことで、視覚的に仲間をペアリングして接続できるなど、決して操作は難しくない。

さらに、セナ・インターモンのラインナップでは、ミッドレンジのモデルはバラエティに富んでいる。スタイルと使い勝手で選ぶことも可能で「10Cプロ」のように、フルHD画質の映像が撮れるというカメラ一体型のインターモンも選べるなど、選択肢の幅が広いのも

ープで

